

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】平成19年7月26日(2007.7.26)

【公表番号】特表2006-514849(P2006-514849A)

【公表日】平成18年5月18日(2006.5.18)

【年通号数】公開・登録公報2006-019

【出願番号】特願2004-563968(P2004-563968)

【国際特許分類】

A 6 1 F 13/49 (2006.01)

A 6 1 F 13/511 (2006.01)

A 6 1 F 13/15 (2006.01)

【F I】

A 4 1 B 13/02 E

A 6 1 F 13/18 3 1 0 Z

【手続補正書】

【提出日】平成19年6月7日(2007.6.7)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

少なくとも一方の側において柔らかく絹のような触感を示すポリマーウェブを製造する方法であって、前記方法は下記のステップ(a) (b) (c) (d) (e) (f)を含む方法。

(a)前駆体ウェブを調製するステップ

(b)少なくとも1つの吸引室を含む形成ドラムを調製するステップ

(c)形成ドラム面上を移動することができる形成構造体を調製するステップであって、前記形成構造体は、以下の(i) (ii) (iii)を含むステップ

(i)形成構造体の対向する第1および第2の表面の間で流体の連通が可能である複数の形成構造体のアパーチャを規定する複数の形成構造体を相互連結する部材

(ii)前記形成構造体の前記第1の表面から延出する複数の突出部、および、

(iii)前記突出部は、少なくとも約0.5の平均縦横比を有する柱状の形態である

(d)前駆体ウェブを形成構造体と隣接するように供給するステップ

(e)形成構造体を真空室と隣接するように移動するステップ

(f)形成構造体に、十分なレベルの吸引力を付与して、ポリマーウェブに順応する十分な部分圧力を発生させ、それによって、その少なくとも一方の側において柔らかく絹のような触感を示すポリマーウェブを形成するステップ

【請求項2】

突出部は少なくとも50ミクロンの平均高さを有し、隣接突出部は少なくとも約100ミクロンの中心間距離を有する請求項1に記載の方法。

【請求項3】

突出部の中心間距離は約100ミクロンと約250ミクロンの間である請求項2に記載の方法。

【請求項4】

突出部は、少なくとも50ミクロンの平均高さ少なくとも0.5の平均縦横比を有する請求項1に記載の方法。

【請求項5】

突出部は、少なくとも75ミクロンの平均高さで少なくとも1.0の平均縦横比を有する請求項1に記載の方法。

【請求項6】

形成構造体の第1の表面は、第1の表面エリアを規定し、形成構造体は、前記第1の表面エリアの1平方センチ当たり少なくとも約1550個の突出部を含む請求項1に記載の方法。

【請求項7】

少なくとも一方の側において柔らかく絹のような触感を示すポリマーウェブを製造する方法であって、前記方法は下記のステップ(a)(b)(c)(d)(e)を含む方法。

(a)少なくとも1つの吸引室を含む形成ドラムを調製するステップ

(b)形成ドラム面上を移動することができる形成構造体を調製するステップであって、前記形成構造体は、以下の(i)(ii)(iii)を含むステップ

(i)形成構造体の対向する第1および第2の表面の間で流体の連通が可能である複数の形成構造体のアパーチャを規定する複数の形成構造体を相互連結する部材

(ii)前記形成構造体の前記第1の表面から延出する複数の突出部、および、

(iii)前記突出部は、少なくとも約1の平均縦横比を有する柱状の形態である

(c)ポリマーフィルムである前駆体ウェブを押し出すステップ

(d)前駆体ウェブを形成構造体と隣接するように供給するステップ、および、

(e)吸引によって吸引室の少なくとも一部に、形成構造体の面上で前駆体ウェブを形成するのに十分な流体圧力を付与するステップ

【請求項8】

以下のステップ(f)(g)を更に含む請求項7に記載の方法。

(f)再加熱手段を調製するステップ、および、

(g)前駆体ウェブを押し出した後、前駆体ウェブを、再加熱手段によって、形成構造体に順応することが可能な十分な高温にまで加熱し、それによって、少なくとも一方の側において柔らかく絹のような触感を示すポリマーウェブを形成するステップ

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】発明の名称

【補正方法】変更

【補正の内容】

【発明の名称】少なくとも一方の側において柔らかく絹のような触感を示すポリマーウェブを製造する方法